

■……「基本的に良い方向」と政策効果に自信を示しているのが黒田日銀総裁。それは円高是正や株価回復、消費・投資改善、物価上昇期待の3つが好転しているかららしい。

どうやらニッポン、経済の優等生。来年4月予定の消費増税や海外経済が変動ということになれば経済失速のリスクは当然高まります。安倍政権3年はそんなリスクを招かないようがんばってもらうしかありませんね。

■……集団的自衛権とは、ニッポンが直接攻撃されなくても、密接な関係のある国への武力攻撃を実力で阻止できる権利。もし安全保障条約を結んでいるアメリカが戦闘に巻きこまればニッポンも武器を取る。

反対の場合も同様。現実はいんターネット使用の中高生がなんと51万人1日5時間以上もこんなモノに熱中して、昼夜逆転の睡眠障害や精神面への悪影響、とこわい話。老人は一日中くだらないテレビのアホ番組にしがみついて日常会話も出来なくなっている。あーこれが平和、安全のニッポン？

■……鳥根や鳥取出身の人たちは昔から「木訥(ぼくとつ)は仁に近し」といわれ、飾りがなく口数が少ないことで好感を持たれていました。ところが最近ばかりがマンガをめぐる閲覧禁止や制限で大騒ぎ。クソまじめ過ぎてユーモアも理解の外、ということらしい。各行政の教育委員会とその委員さんたち、何が面白くて生きているのやら、さっぱり不可解な人間で占められています。

海外に出て学ぶ若者が増えてますが、家庭のパーティーに呼ばれてもまともな会話も笑いもない、ただ立ちすくむだけの「壁の花」では情けない。

■……警察庁発表の「子供・女性・高齢者と警察活動」では刑法犯認知件数が戦後最多を記録した02年の半数以下に納まっていますが、被害の認知と摘発の双方で65歳以上の高齢者の占める割合が急増。元気なじいさん、ばあさん、といえるのかどうか。全体的に1種のボケ現象みたく、白書は「孤立化」を原因にあげてますが、やはり「寄り合う場」が必要なのでしょう。

■……熱暑続きの今夏。小中学校生の熱中症による救急車集団搬送とやら毎年話題になります。10数年前

の経験でいうと、炎天下の学校校庭で朝礼が行われ、数回に1回は「いつもの子」が倒れ、保健室に運ばれたものでした。しかし学校に救急車が来たことは一度もありません。これは入社3カ月以内での離職率の高まりと関係があるような気がします。今一步の踏ん張りが利かない若者が想像以上に増えているのでは(丁)

■……通勤電車の首が回らないほどの混雑の中、5〜6人が無理矢理スマホをやっているのを見かけます。この人たち、その時の自分の顔、想像できますか？みんな二重顎になっています。酷い人は3重、4重にも。

どのように造作の整った女性でもかなりブサイク。「近い将来、首に醜いシワが出来ますよ。あなた、今それはそれはブサイクに見えますよ」と教えてあげたら、どんな反応を示すか、当方、そんな想像をしてニンマリ(M)

■……「シニアサイン」ーなんのことかと思えば、耳が聞こえなくなつた老人との会話方法とか。見ぶり手ぶりてサインを送る、今、高齢者施設などでジュエスチエーターたつぷりの会話が。日本人の不得手な方法。将来を見越して勉強しておきますか。

月刊公論 MONTHLY
KORON

10月号 第46巻10号

平成25年10月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611(代)、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。